

福岡歯科大学

【所在地】

〒814-0193 福岡市早良区田村2丁目15番1号

【主な交通手段】

- ・地下鉄七隈線「賀茂駅」下車、①番出口より徒歩約10分
- ・西鉄バス「福岡歯科大学前」、「歯科大病院」下車、または西鉄バス「次郎丸団地」下車、徒歩約8分

《交通案内》 <https://d.fdcnet.ac.jp/access/>

【キャンパスの概要】

キャンパス内には、医科歯科総合病院、学生研修センター、福岡看護大学及び福岡医療短期大学のほか、アニマルセンター、介護老人保健施設(入所定員85人)並びに企業主導型保育事業による認可外保育所(ぺんぎん保育園)を併設しています。この他、社会福祉法学会の設置する介護老人福祉施設(入所定員100人)も隣接し、医療・保健・福祉を学べる、恵まれた環境となっています。

《校地・校舎面積》

区分	校地	校舎
福岡歯科大学	専用 4,454 m ²	専用 28651 m ²
	※共用 100,057 m ²	※共用 26535 m ²
計	104,511 m ²	59,529 m ²

※印は福岡看護大学及び福岡医療短期大学と共用

■教育・研究施設

○福岡歯科大学医科歯科総合病院（日本医療機能評価機構認定）

本学の附属病院であり、地域の中核的病院としての役割も担っています。

歯科各科をはじめ内科、外科、心療内科、形成外科、耳鼻咽喉科、眼科、麻酔科(ペインクリニック)、小児科、整形外科、皮膚科がありCTやMRI等の画像診断装置も備えています。また、歯科と医科の多職種の医療スタッフが連携して、地域医療に貢献するため、平成29年10月に訪問歯科センター、11月に内視鏡センターを開設しました。訪問歯科センターでは、往診による歯科治療や口腔ケアなどの口腔管理を行っています。内視鏡センターでは、内視鏡検査に加えて、内視鏡治療と内視鏡手術を行っています。歯科および医科それぞれの診療科が協力して全身的、総合的医療を展開するとともに、大学の臨床教育の場として全身疾患を広く学ぶ環境が整っており、学生は歯科と医科を横断的に学び「患者中心の医療」の現場を体験・実習していきます。

また、令和元年となる2019年に病院の建替え工事が開始され、令和2年9月29日に延床面積が現在の病院の約1.5倍となる新病院が開院しました。開院とともに健診センターを開設し、一般の特定健診、後期高齢者健診、よかドッグなどに加えて、口腔健診を含む全身の健診を行っています。

○情報図書館

大学本館9階に位置し、閲覧室ラーニングコモンズがあり、令和6年3月現在で121,191冊の蔵書を保有しています。学生閲覧室の座席数は88席。学内無線LANを利用し、学内や病院内のどこからでも蔵書図書情報検索、オンラインジャーナル・電子図書・オンラインデータベースの閲覧、他校への文献複写依頼などが可能であり、学生が「いつでも・どこでも・何度でも」動画を中心とした教育コンテンツを閲覧することが可能で、アクティブラーニングによる学習効果の向上が期待されます。

開館時間：平日9:00～20:00、土曜日9:00～12:30（休館日は日曜日、祝日、年末年始）

※このほか、本学学生は福岡看護大学情報図書館、福岡医療短期大学情報図書館も自由に活用することができます。

○福岡歯科大学・福岡看護大学・福岡医療短期大学 口腔医学研究センター

口腔医学研究センターは令和元年10月1日に設置されました。歯科大学本館6階にあり、次世代シーケンサーMiSeqや組織化幹細胞蛍光観察装置システムなどの先端的設備を擁しています。福岡学園3大学におけるこれまでの先進的かつ独自性の高い研究活動を一層推進・拡充し、ブランディング強化を図るため、「常態系」、「病態系」、「再生系」、「臨床歯学系」、「医学系」の5つの口腔医学プラットフォームを構築しました。それぞれのプラットフォームでは口腔の健康は全身の健康を守るという「口腔医学」のコンセプトに基づいた共通目標のもと、独自の先駆的研究に取り組むとともに相互の連携研究にも取り組んでいます。

○アニマルセンター

4階建ての建物は、研究用および実験施設として活用されています。動物実験の倫理的原則を徹底し、すべての動物実験は厳しく審査され、認められた研究のみが行われています。

○統合型実技教育実習室

大学本館4階の本実習室には、コンピュータと実習機が完全一体化したマルチメディア対応の実技教育装置が設置され、さらにはe-learningシステムを導入し、学生が自分の進度に合わせて自学自習しながら実習を進める学習者中心の問題解決能力の養成を図っています。

○情報処理実習室

大学本館4階にあり、広々としたスペースでICT社会に対応できる歯科医師を育成するため、教材配信ソフトによる授業やテストの実施、インターネットチュートリアルの実施などネットワークを使った対話型の授業を行っています。

○ロボット実習室

大学本館4階の統合型実技教育実習室に隣接し、「成人型患者型ロボット」2体と「小児型患者ロボット」1体を使用し、歯科診療中の緊急時対応を疑似体験することができます。全身状態が急変するなど臨場感のある動作を表現するロボットで、通常の診療参加型実習では経験できない対応の修得を目指し、医科と連携したチーム医療のトレーニングを実践します。

○CAD/CAM実習室

病院3階にあり、診療参加型臨床実習用デジタル教材作成装置(CAD/CAM、3Dプリンタ)が設置され、模型を使った口腔・咽頭の診断シミュレーション実習が行われています。また、デジタル3次元教材作成が可能になり、臨床実習の場で活用されています。さらにデジタル化技術を用いた臨床実習用メタルフリー歯列修復教育教材作成装置(模型計測器、加工機)の設置により、咬合・咀嚼機能リハビリテーションの診断・演習を行っています。

○第2総合診療室

病院3階にある第2総合診療室(診療参加型相互臨床実習室)には、教育実習用チェアユニット12台、各ユニットを監視する制御装置のほか、チーム学習を行うラーニングコモンズが整備されています。実際に診療で使用するユニットと同じ動作が再現できるため、より臨床に近い実習が可能で、診療スペースに隣接していることから、スキルラボとしても利用されています。ここでは、指導医の管理・指導のもと、簡単な口腔治療に関して学生同士の相互実習やマネキンを用いた技能訓練を行い、患者実習に対応できる能力を習得します。平成28年3月には、同じく文部科学省の助成により「デジタル化口腔顎機能記録解析教育装置」が導入され、患者データのデジタル化、そのデータを利用した診断、治療計画及びシミュレーションの実行やCADによる補綴装置の設計および治療計画の客観的評価などの実習も可能となりました。自習によるフィードバックもできる統合型臨床実習システムも導入されています。

○解剖実習室

解剖実習室は、ホルムアルデヒド対策としてフィルター付排気装置一体型解剖実習台が設置されているほか、最新の視聴覚機器を導入しています。

■学生支援施設(休息の取れる環境等)

○学生研修センター

4階建ての本研修センターは、居室30室、講義室2室、セミナー室4室、談話室3室、ゲストルーム4室などがあり、希望する学生は入居することができます。また、少人数での自主的研修や学外来客者用の宿泊・滞在施設として利用されています。

○学生ホール

広々とした学生ホールは、平成29年3月、文部科学省の助成を受け、可動式テーブル・椅子、ノートパソコン、モニター、プロジェクター、スクリーン、ホワイトボード、掲示板等を設置し、オープンスペースとしました。これにより、学生の少人数から多人数での協働作業が可能となり、問題解決能力や他者とのコミュニケーション力の育成に貢献し、毎日多くの学生によって活用されています。

○福岡歯科大学・福岡看護大学・福岡医療短期大学 保健管理センター

令和4年9月、同年7月に完成した50周年記念講堂4階に保健管理センターが開設されました。相談室と応急処置の設備を有しており、学生および教職員の心身の健康管理を支援しています。

○RestaurantTOMATO（食堂）

福岡歯科大学本館1階にあった食堂が移転し、50周年記念講堂1階にリニューアルオープンしました。400以上の座席があり、開放的な空間の中で食事を楽しむことができます。

○その他

学園内には、日用品売店（コンビニ）、歯科材料売店、各種自動販売機、ATMコーナーなどがあり、学生生活に必要な品物が揃えられ、学生をはじめ、教職員にも利用されています。

■快適・安全な設備

○バリアフリー

キャンパス内は歩道段差を解消し、本館玄関へは車椅子用通路の設置、出入口の自動扉化、本館エレベーターの障がい者対応化、また、附属病院1階には、障がい者用トイレが設置されており、キャンパス内のバリアフリーは整備されています。

【運動施設の概要】

■グラウンド（22,040㎡）

野球場、サッカー・ラグビー場（夜間照明有）を有し、体育系部活の練習や試合等に活用されています。

■弓道・アーチェリー射場（231.95㎡）

危険防止を重視した設計で、弓道やアーチェリーの公式競技にも使用可能な本格的施設です。

■体育部室（867.2㎡）

部室棟にはシャワー室、洗濯室を完備しています。